



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(※) 	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] <input type="radio"/> 電話によるご請求 0120-232-711 (通話料無料) <input type="radio"/> インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

Takano

タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.44



©Snowman Enterprises Ltd. 2017 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

NAGANO trend 33

夜空を艶やかに彩る『諏訪湖まつり湖上花火大会』

当 社所在地の長野県にある諏訪市では、毎夏「諏訪湖まつり湖上花火大会」が開催されます。「敗戦で傷ついた心を癒し、平和への願いを込めて」という趣旨のもと昭和24年に開始されました。以来、毎年8月15日に開催され、打ち上げの前には戦没者へ黙とうを捧げます。4万発という打ち上げ数は全国最多であり、毎年約50万人もの見物客が訪れます。

スターマインの水面上に舞い続ける花火は圧巻の迫力、全長2キロメートルにわたるナイアガラは、光が夜の湖に流れ落ち、まさに滝のごとく壮大です。また、四方を山に囲まれているため花火の破裂音が山に反響し、全身に響き渡るような轟音も魅力のひとつです。

圧倒的なスケールを誇る湖上花火大会は来年で節目の70回を迎えます。テレビ放送、インターネット配信も実施されていますので、ぜひご覧になってください。



第65期 中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社の第65期第2四半期累計期間の業績ならびに通期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境等の改善により緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、米国大統領の今後の政策の影響やアジアを中心とした地政学リスクの拡大、欧州の政治リスクに対する警戒感の高まり等を受け、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。
このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の2年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改

革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。
具体的には、新営業分野に関する製品開発・販売活動、各種の事業提携活動およびグローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。
しかしながら、産業機器およびエクステリア製品の販売の増加はあったものの、機械・工具の販売が大幅に減少したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,364百万円で、前年同四半期比112百万円(1.2%)の減収となりました。
利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進に努めたものの、検査計測機器の販売価格の低下等の影響もあり、営業利益301百万円(前年同四半期比140百万円、31.7%の減益)、経常利益351百万円(前年同四半期比62百万円、15.1%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益247百万円(前年同四半期比32百万円、11.6%の減益)となりました。



代表取締役社長
鷹野 準

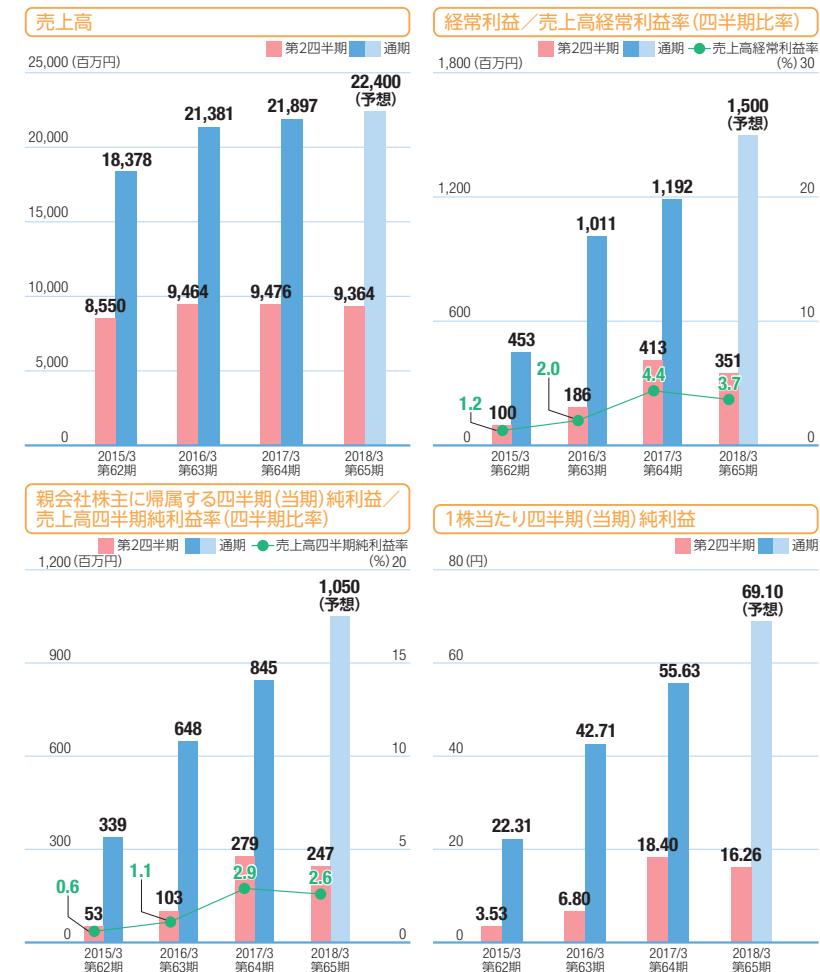


To Our Shareholders

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、米国大統領の今後の政策の影響やアジアおよび中東を中心とした地政学リスクの拡大等、先行きは依然として不透明な状況が続くものの、企業収益の改善等に牽引され、引き続き景気は緩やかに回復していくものと思われれます。

このような環境のもとで、当社グループは引き続き中期経営計画「Innovation 68」に定める目標の達成に向けて、重点的かつ積極的な経営資源の投入により施策実行スピードを向上させてまいります。
なお、通期の業績予想につきましては、現時点で、本年5月9日に公表いたしました予想と変更はなく、右の表のとおりとなっております。



	連 結	単 体
売 上 高	22,400百万円 (前期比2.3%増)	19,380百万円 (前期比1.5%増)
経 常 利 益	1,500百万円	1,250百万円
当期純利益	1,050百万円	900百万円

※上記表の「当期純利益」は親会社に帰属する当期純利益を表示しております。



タカノは、昨年創業75周年を迎えました。ばねの製造から始まり今日にいたるまで、戦争や経営難など幾多の危機を乗り越え、とどまることなく事業を展開してまいりました。このたび記念企画といたしまして、タカノの75年間の歴史をご紹介します。

事業沿革

1941年	株式会社鷹野製作所創業
1953年	ばね製造会社として株式会社タカノ製作所設立
1962年	折り畳みばねいすの製造販売開始
1968年	コクヨ株式会社と取引開始
1971年	タカノ株式会社へ社名変更
1982年	エクステリア製品製造販売開始
1985年	電磁アクチュエータ分野に進出 東京事務所（現東京営業所）設置
1987年	画像処理検査装置1号機完成
1994年	健康福祉分野に進出
1995年	店頭売買銘柄として日本証券業協会に登録
1996年	株主優待制度導入
1997年	東京証券取引所市場第二部に上場
2004年	東京証券取引所市場第一部に上場
2005年	台湾鷹野股份有限公司設立
2010年	上海鷹野商貿有限公司設立
2011年	香港鷹野國際有限公司設立



タカノ製作所初の自社工場（1954年）

タカノでは、1941年の創業以来培ってきた独自のばね技術を活かし、1962年にタカノのいす第1号となる「折り畳みばねいす」を開発し、1968年からオフィスいすのOEM生産（相手ブランドによる生産）を開始しました。さらに、オフィスいす生産の際のプレス金属加工技術等を活かしエクステリア製品を開発。1983年には自社ブランドの開拓実現を目指すべく「新規事業開発部門」を設置し、1985年にATMなどに使用される電磁アクチュエータを開発、1987年にはCCDカメラを搭載した画像処理検査装置を開発し、本格的にエレクトロニクス関連分野へ進出しました。また、現代社会のテーマである、高齢化・医療・介護に着目し、蓄積された技術のもと医療・福祉関連事業への展開に注力しています。

今後も、既成概念にとらわれることなくタカノの展開力を強みとし、中期経営計画の重点施策である、半導体関連電子デバイス検査事業の拡大、AI（人工知能）を活用した検査装置の高度化の他、医療関連分野の新たな展開等に向けて、さらなる挑戦を続けてまいります。

製品のあゆみ



★印は産学共同研究による開発製品・商品です。



Element AI Inc.との合弁会社設立について

Close Up

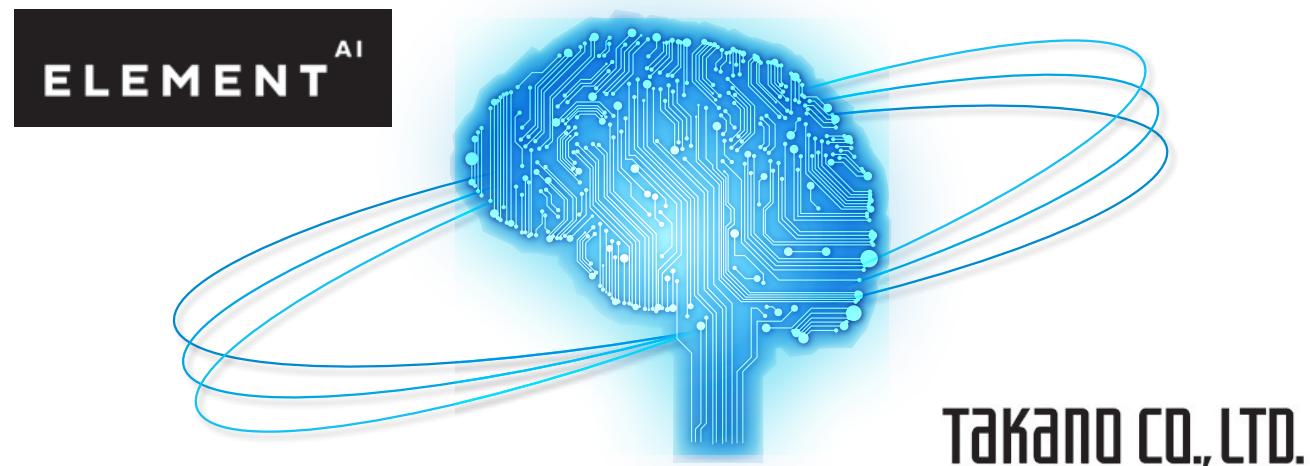
タカノは、カナダのElement AI Inc.（以下、Element AI社という。）と、AI（人工知能）ソフトウェアの販売を行う合弁会社を設立することで合意し、合弁設立契約を締結しました。

Element AI社は、ディープラーニング技術を生み出したひとりであるモントリオール大学教授ヨシユア・ベンジオ氏が世界をリードするAIの研究センター、Montreal Institute of Learning Algorithms (MILA) において推進している、膨大なスケールを持つ学術向けAIの能力を産業界にも活用することを目標として、2016年10月に設立した会社であり、最先端技術への人工知能ソリューションの提供を行っています。

タカノでは、タカノの持つ液晶基板外観検査装置事業に関する知見とElement AI社が有する人工知能の知見を互いに活かすことで、液晶製造工程およびその他の電子部品工程におけるソリューションの提供が可能と判断し、Element AI社との合弁でAI（人工知能）ソフトウェアの販売を行う合弁会社を設立することとしました。

合弁会社の資本金は200,000米ドル相当額の予定であり、当社とElement AI社の折半出資となります。

本合弁会社はシンガポールに登記され、関係当局の必要な承認後すみやかに設立し、その運営を開始する予定です。なお、日本およびカナダに拠点を設けて、顧客提案・AI技術開発を展開することを予定しています。



半導体関連分野外観検査装置にかかる事業譲受について

Close Up

タカノでは、株式会社トプコンおよびその子会社である株式会社トプコンテクノハウスより、半導体関連分野にかかる外観検査装置事業（Vi事業）を譲り受ける「事業譲渡契約」を、株式会社トプコンおよび株式会社トプコンテクノハウスと締結し、平成29年11月1日にその事業譲渡を受けました。

タカノグループにおきましては、前年度策定を行った中期経営計画「Innovation 68」に定める基本方針「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画の具体化に努めています。タカノグループの検査計測機器セグメントにおきましては、主力であるFPD（フラットパネルディスプレイ）外観検査装置分野の強化に加え、半導体関連検査装置分野を強化すべきマーケットと定め、開発・営業等の事業展開を図っています。

タカノグループでは、これら半導体関連検査装置分野の強化にあたり、同分野での開発体制・販売体制（販売ルート）のさらなる拡充が必要と考え、半導体関連分野にかかる外観検査装置で、多くの実績と顧客との強固な信頼関係を持つ株式会社トプコンおよび株式会社トプコンテクノハウスから、半導体関連分野にかかる外観検査装置事業を譲り受けることとしました。

今後は、譲り受けたVi事業と当社既存事業の融合を図り、高いシナジー効果による半導体関連検査装置分野の強化拡充を実現させ、中期経営計画の達成につなげてまいります。



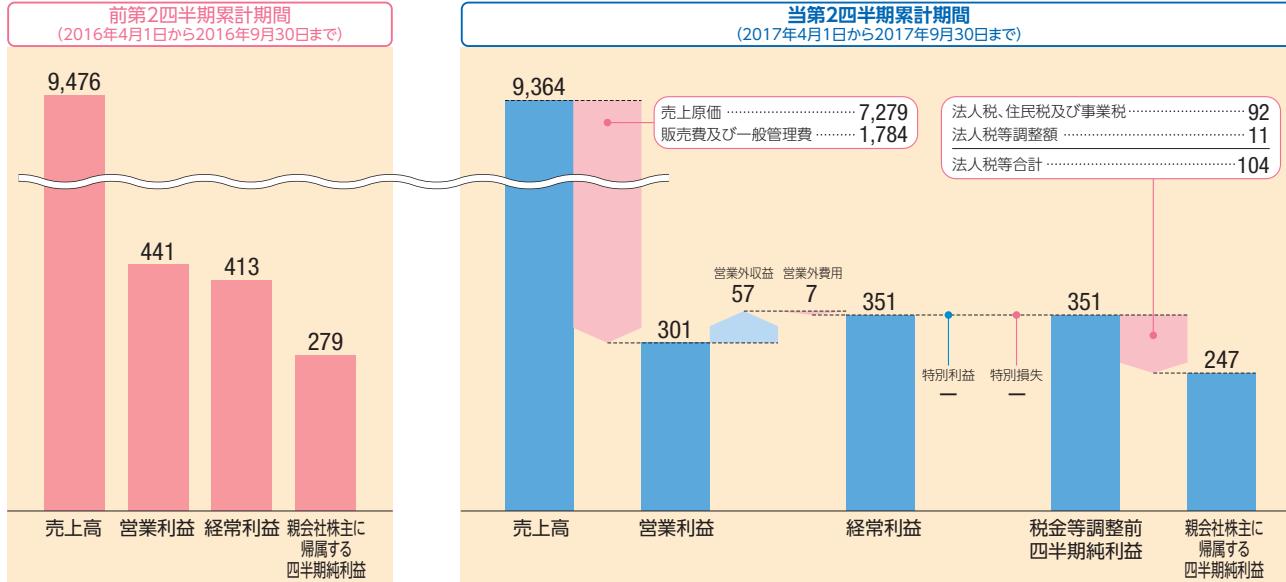


四半期連結決算概要(要旨)



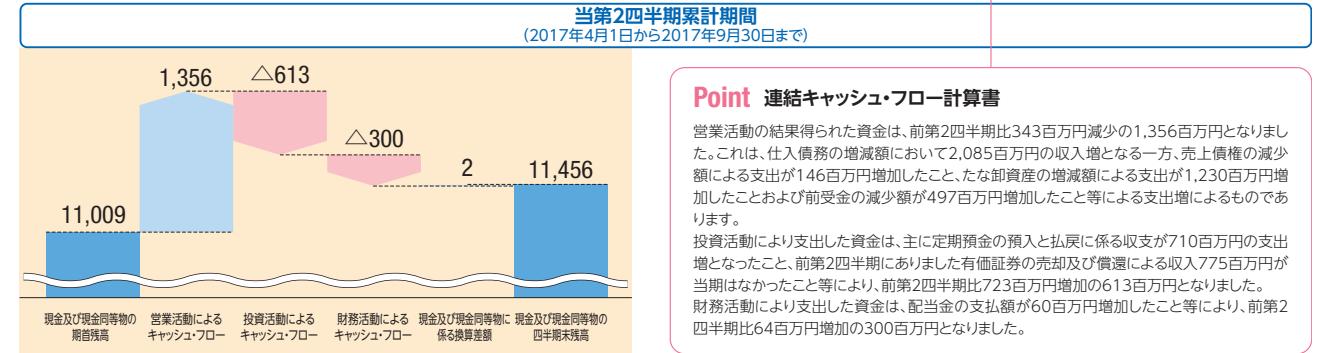
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



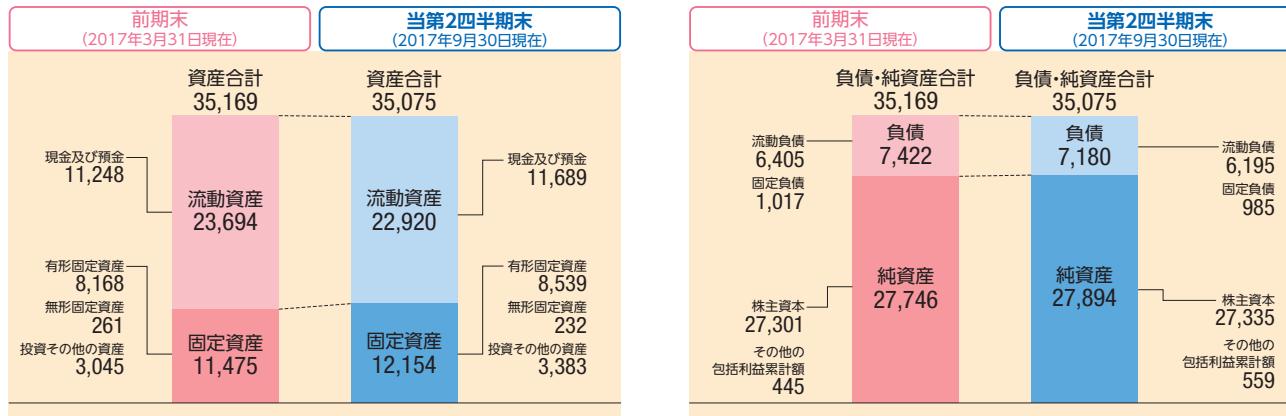
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

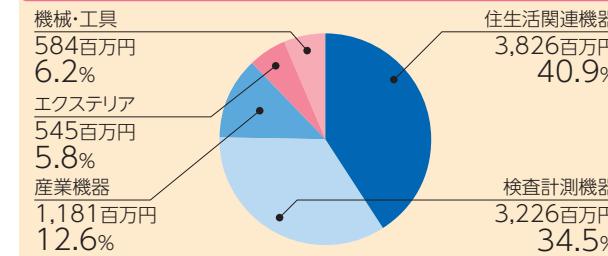


セグメント別概況

(単位:百万円)

セグメント	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減率
住生活関連機器	3,798	3,826	0.8%	△16	△45	-%
検査計測機器	3,314	3,226	△2.7%	253	126	△50.0%
産業機器	1,030	1,181	14.6%	150	175	16.8%
エクステリア	426	545	27.7%	△10	24	-%
機械・工具	905	584	△35.4%	49	34	△30.3%
セグメント間取引消去	-	-	-%	14	△14	-%
合計	9,476	9,364	△1.2%	441	301	△31.7%

セグメント別売上高構成比





会社概要

商号 タカノ株式会社
本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
創業 1941年7月1日
設立 1953年7月18日
資本金 20億1,590万円
事業内容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、医療・健康福祉機器の製造ならびに販売
従業員数 459名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社

- 株式会社ニッコー
住所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
資本金 90百万円
タカノ機械株式会社
住所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 省力化機械の製造販売
資本金 50百万円
台湾鷹野股份有限公司
住所 中華民国台中市
事業内容 検査装置の保守サービス
資本金 20百万新台幣元
上海鷹野商貿有限公司
住所 中華人民共和国上海市
事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
資本金 50万米ドル
香港鷹野国際有限公司
住所 中華人民共和国香港特別行政区
事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)
資本金 1百万香港ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役員

代表取締役社長 鷹野 準
専務取締役 鷹野 力
常務取締役 小田切 章
常務取締役 大原 明 夫
取締役 久留島 馨
取締役 臼井 俊 行
取締役 玉木 昭 男
取締役 下島 久 志
取締役 植田 康 弘
取締役(非常勤) 黒田 章 裕
取締役(非常勤) 嘉戸 廣 之
取締役(監査等委員) 戸枝 茂 夫
社外取締役(監査等委員) 長谷川 洋 二
社外取締役(監査等委員) 小澤 輝 彦

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



http://www.takano-net.co.jp

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2017年度の株主優待は、2017年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記の6点の商品のなかから1点お選びいただき贈呈いたします。なお、商品は12月中旬*までに発送する予定です。100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、12月上旬に当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」をお送りいたします。
※「旬の時期」にお送りするため「りんご」「長いも」は発送時期が前後することがございます。



●株式・株主の総数

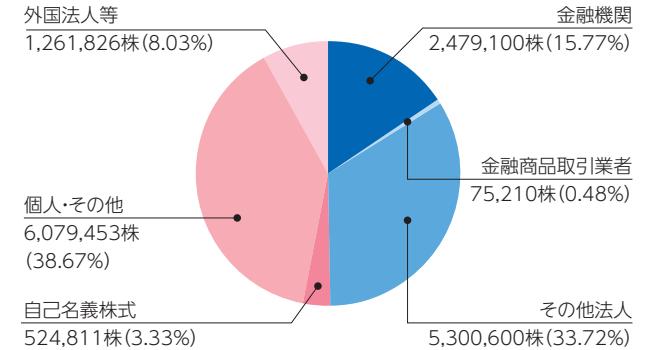
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 5,937名

●大株主

Table with 3 columns: 株主名, 持株数, 持株比率. Lists major shareholders like Kokoro Co., Ltd. and various individuals.

(注) みずほ信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて日本発条株式会社の信託財産であります。

●所有者別株式の分布状況



●株価の推移

